

11月中間集約 10万筆超の署名を集約

11月15日の中間集約には16日時点で岩手、神奈川、新潟、熊本の4県から報告が届きました。10月末報告の11県と合わせて、のべ12県からの報告の集約で合計10万筆を超えました。

高校生の「願い」がまっすぐに届く情勢を活かそう

全国で緊急事態宣言の解除に伴い学校行事が集中するなかをいかくぐって、フェスティバルやつどいが開催されています。今の高校2年生は入学時にいきなり数か月の休校、今年に入っても分散登校や部活動の制限、放課後ものんびりできない学園生活が続いています。秋晴れの青空の下、これまでため込んできた思いを吐露する生徒会役員や一

心不乱にステージで演じる部活の生徒の姿は、たまたま通りかかった人にさえもまっすぐ届いています。

神奈川では11月3日に、茨城では7日に県の「つどい」を開催。共通しているのは「文化祭の中止や縮小で見られなかった部活のステージを多くの父母が見に来た」ということ。神奈川では旭丘高校の生徒・父母が協力して終日署名を呼びかけ、なんと700筆を超えました。駅頭署名行動としては史上最多で記録的な数を集めました。愛知では既報のとおり、及び腰の行政を粘り強く説き伏せ、午後のみ・飲食なしという条件ながら、11月3日にモリコロパークでBIGフェスティバルを開催。700人の群舞は圧巻でした。さらに10月30日には新潟、先日の14日には東京でそれぞれオンラインながらつどいが開催され、このあと山形や熊本でもフェスが予定されています。

このほか、街頭署名に取り組んだ県からも、「思いのほか反応がよかった」「参加した生徒や父母が生き生きしていた」という声が届いています。生徒たちだけでなく、父母も、街も、まるで「待っていた」かのような反応を示す、そんな情勢を活かして「私学も無償に」を広げていきましょう。

	自主目標	11月15日	10末-1115増分	目標比11/15
岩手	84,800	8,842	8,842	10.43%
山形	100,000	53,858	0	53.86%
宮城	20,000	4,700	0	23.50%
茨城	50,000		0	0.00%
栃木	3,000	2,609	0	86.97%
神奈川	71,000	10,341	8,491	14.56%
長野	39,000		0	0.00%
新潟	120,000	27,298	16,759	22.75%
石川	30,000		0	0.00%
愛知	2,204,700		0	0.00%
兵庫	100,000	0	0	0.00%
岡山	100,000	732		0.73%
香川	20,000	172	0	0.86%
愛媛	3,000		0	0.00%
熊本	60,000	1,327	752	2.21%
	3,005,500	109,879	34,844	1.68%

スタートの遅れを挽回するペースを築こう!!

「打てば響く」ような情勢に対して、問われるのは主体的な力量と一歩を踏み出す構えです。コロナ禍「第5波」によるスタートの遅れが昨年以上に深刻ななかで、いつまでに、どこまで署名を集めきることができるか、待ったなしの状況です。

昨年度はスタートの遅れに合わせて集約を後ろに倒しましたが、今年はそうもいきません。短期集中、一気に呵成に運動の終盤を迎えます。12月初旬の各県での提出・要請行動に向けて、そして12月10日の私学院内集会に向けて、各県、各単組で互いに呼びかけ、署名の動きかけを強めていきましょう。署名回収、集約、報告も短期間の勝負です。「このままだととんでもないことになる」という危機感を広く共有し、引き締めていくことが重要です。

上の表に記載がなくても中間集約をしている県は、その集約数の報告をお願いします。また、次の全国集約は11月29日（月）です。最後まで粘り強く取り組んでいきましょう。